

## 令和5年度 鈴ノ宮保育園 自己評価

「たくましく生きる力を育む」を基に自ら考え判断する子・心身ともに健康な子・感謝と思いやりを持つ子・食べ物を大切に、好き嫌いをなく食べる子を目標に良識ある人間を育てる基礎づくりをしています。年齢に応じた体験や経験をする中で、一人ひとりの育ちを大切に教育・保育、同じ年齢であっても育ちは違い、そういった育ちを大切に教育・保育を実践しています。

### ○教育・保育について

コロナ感染症が5類に分類されたことで、日常が戻ってきました。

行事等もコロナ前に戻り保護者の参加する行事など一緒に経験する事ができ、教育・保育への関心も広がったのではと思います。また、行事を見直す機会となり再確認する事ができました。

年齢に応じた遊びや環境保育は、次の年齢に繋がりにくいので子どもの成長に応じた遊び方や生活を大切にしながら横の連携や話し合いを持ち密にしていきました。

その中でも、クラス単位で活動が多かったためか、異年齢児での遊びは経験が少なく感じ、行事や日常の関わりの中で、機会を増やしていきたいです。

発達に応じた関わり方は、保育の質が落ちないように職員共有の理解を持ちながら進めていきたいです。

### ○小学校との連携について

小学校との交流も戻り、わくわくランドに招待して頂き毎年恒例のハロウィン・お花渡し等、校区の小学校に行くこともできました。また、こちらからも音楽会の行事では小学校の先生に来てもらうこともでき、少しずつですが交流を進めることが出来ました。

幼保小との合同研修会もあり各小学校と個別に連携し情報共有することができましたが、子どもたちが不安なく小学校生活をスタートできるように情報交換をしながら話し合う機会を持ちたいです。

### ○地域交流・子育て支援について

地域交流も通常通り行うことが出来ました。園庭開放では、年々参加人数が減少する中で園でしか体験出来ない季節ごとの行事や収穫体験は好評でした。

気軽に来園できる居場所になる事で、少しでも地域の方々の情報提供の場としてサポート出来たらと思います。

制限が緩和されたことで、中学校の職場体験や高齢者の方と昔遊び体験をしたり施設にハロウィンで訪問する事ができ、楽しい触れ合いが出来ました。これからも、色々な年齢の方と交流をしていきたいです。

### ○保護者支援・子ども支援について

保護者に対しては、クラスだより・ホームページ・よいこネットなどを通じて情報を発信していきましました。また、日頃から日常の様子を可視化する事で話題の一つとしてコミュニケーションを心がけて来ました。

問題が発生した時も個々に応じ、その都度迅速な対応とりました。いつ起こるか分からない問題を職員が気付けるか、気付きの重大性を感じた年になりました。各機関と素早く動けるように、職員が共有の理解をする事で対応していけるように考えています。

また、外国国籍の家庭は言葉の問題や共通の理解が難しく感じ、適切な援助や関わりが持てるように工夫していききたいです。

### ○職員の資質向上について

専門委員会の活動で保護者支援・子育て支援の援助の仕方、安全対策・保健衛生の勉強会を持ちました。安全面では、AEDのトレーニングユニットを利用することで毎月心肺蘇生やAEDに触れ対応の方法・救急対応は、電話連絡や必要な書類のまとめ方など見直し取り組むことが出来ました。

人権のセルフチェックをする事で自分たちの保育の振り返りをする事が出来、職員全体で園の弱いところを見直すことが出来、経験年数が少ない職員が増えていることで気付きを大切にすることが共通の課題となりました。一つひとつ丁寧に理解することで、保育の質が高められるように取り組もうと考えています。

研修はオンライン研修もスムーズに行え、対面研修も増え多くの職員が参加出来るようになり学べるような機会を多くもてるようにしたいです。

### ○安全への取り組み・健康について

安全については、火災・地震・不審者・水害の訓練をしました。総合消防訓練は、消防局の方に4年ぶりに来て頂き訓練を行うことが出来、子どもたちも職員もいつもと違う訓練に緊張して参加する事が出来、室内の安全の確認の方法などの指導をして頂きました。

今年は、大雨での避難指示が発令されました。訓練実施していますが、必要な物の見直しや保護者の連絡方法、送迎の仕方等問題点が見つかりました。これからもいつ起こるか分からない災害に向けての見直し・取り組み方など話し合いを重ねていかななくてはなりません。

欠席児童に対しても安否の確認で連絡する事で、保護者の方にも連絡の大切さがより理解してもらいました。

健康については、コロナ感染症は収まりましたがインフルエンザ・RSウイルスなどの感染症の発生が今までになく多かったです。これからも、手洗い・うがいに気を付けて予防に繋げていききたいです。

子どもたちの取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。安心して過ごせるように一人一人を尊重し命を大切にすることを育てながら取り組んでいきます。

園長 中辻美紀